

行政報告

市議会9月定例会が8月29日に招集され、小畑市長が行政報告を行いました。その中から、主なものの要旨をお知らせします。

熊と猿の 出没が増えています

今年は、ブナの実の凶作がほぼ確実と見込まれるため、県では3月30日に「ツキノワグマの出没に関する注意報」を発令し、市でも監視に努めてきました。

市内では、4月からこれまでの間に、57件(昨年の3倍以上)の熊の出没情報が寄せられ、農作物などに被害が発生しています。出没地区では、現地調査を実施するとともに、看板の設置・チラシの配布などで注意を促しています。人身に危



害を及ぼす恐れがある場合は、銃による緊急捕獲や捕獲檻による駆除を実施し、これまでに5頭を捕獲・駆除し、現在も3地区に捕獲檻を設置しています。

次に猿については、左目負傷のハグレザルとみられるニホンザルが、7月末から立て続けに麓西、真中、長坂、下川沿片山、釈迦内、矢立の各地区で人里に出没し、6人がかまれて負傷するなどの被害が発生しています。

このため市では、公的機関や教育機関に周知を図るとともに、8月18日に全市内の町内会長に警戒をお願いし、出没が予想される釈迦内、矢立、長木地区にはチラシの配布をお願いしました。

ニホンザルは、本県では絶滅危惧種とされ、「秋田県ニホンザル保護管理計画」で保護を定めた保護鳥獣です。そのため、主な対策は追い払いであり、出没している矢立地区では、花火などを使用し山への追い払いを行っているところです。

今後、農作物の収穫期を迎え、熊、猿とも出没機会が増えることが予想されることから、関係機関と連携を図り、監視

を強化するとともに、広報などで注意を呼びかけていきます。

助産師外来の開設と 婦人科外来診療

市立扇田病院の産婦人科は、9月1日から、入院診療を休診し、代わって助産師外来を開設することになっています。

これは、市立総合病院産婦人科との連携の中で、妊娠24週から39週までの安定期に、妊婦健診や出産、育児などの準備指導などを行うものです。対象は、市立総合病院の医師が経過順調と判断した妊婦さんで、「中期助産師外来コース」に同意を得られたかたに限定されます。

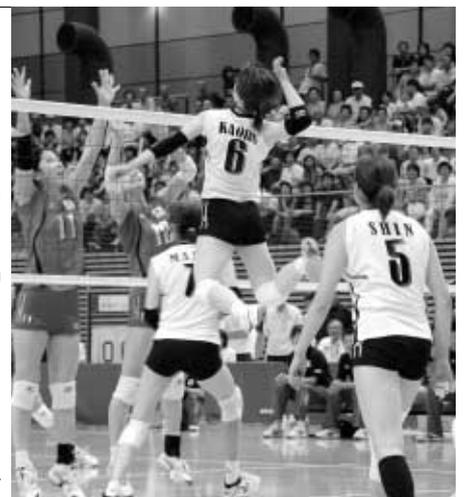
医師と十分な連携をとり、異常が疑われた場合には、直ちに医師の判断を得られるよう、万全な態勢で運用します。定評のある扇田病院産科のノウハウを生かし、妊産婦さんを身体的、精神的にきめ細かく支援できると考えています。

また、産科を除く婦人科の外来診療は9月から週1日、秋田大学から非常勤医師を派遣していただき、婦人科疾患、婦人科健診、更年期外来などの診療を行うことにしています。

秋田わか杉国体 開催に向けての取り組み

「秋田わか杉国体」の開催まで残すところ1年となりました。

本市では、ソフトテニス競技が19年9月30日から10月3日まで(高館テニスコート)を会場に11チーム、777人が参加予定)、また、バレーボール競技が10月5日から8日まで(樹海体育館と田



代体育館を会場に、30チーム370人が参加予定)開催されます。

市では、全国から集まる皆さんにとって思い出に残る大会となるよう、市民の皆さんのご協力を得ながら、大会の成功に向け準備を進めているところです。

現在、市民の皆さんを対象として、国体運営へ積極的に参加していただくために、「市民ボランティア」の募集をしています。7月14日には、大館商工会議所大館市体育協会、あきた北農業協同組合大館市連合婦人会が発起人となり、「秋田わか杉国体大館市市民運動推進協議会」が設立されています。

国体に向けては、昨年、リハールを兼ねた東北総合体育大会のソフトテニスとバレーボール競技が行われ、今年7月には樹海体育館で全日本バレーボールチームの大館合宿、8月には高館テニスコートで全日本実業団ソフトテニス選手権大会など、国体ムードを盛り上げる大会が開催されています。さらに、9月18日には樹海体育館を会場に、国体まで1年に向けたイベントを開催する運びとなっています。